

総合効率化計画の概要

(平成22年度認定事案)

国土交通省総合政策局物流政策課物流産業室

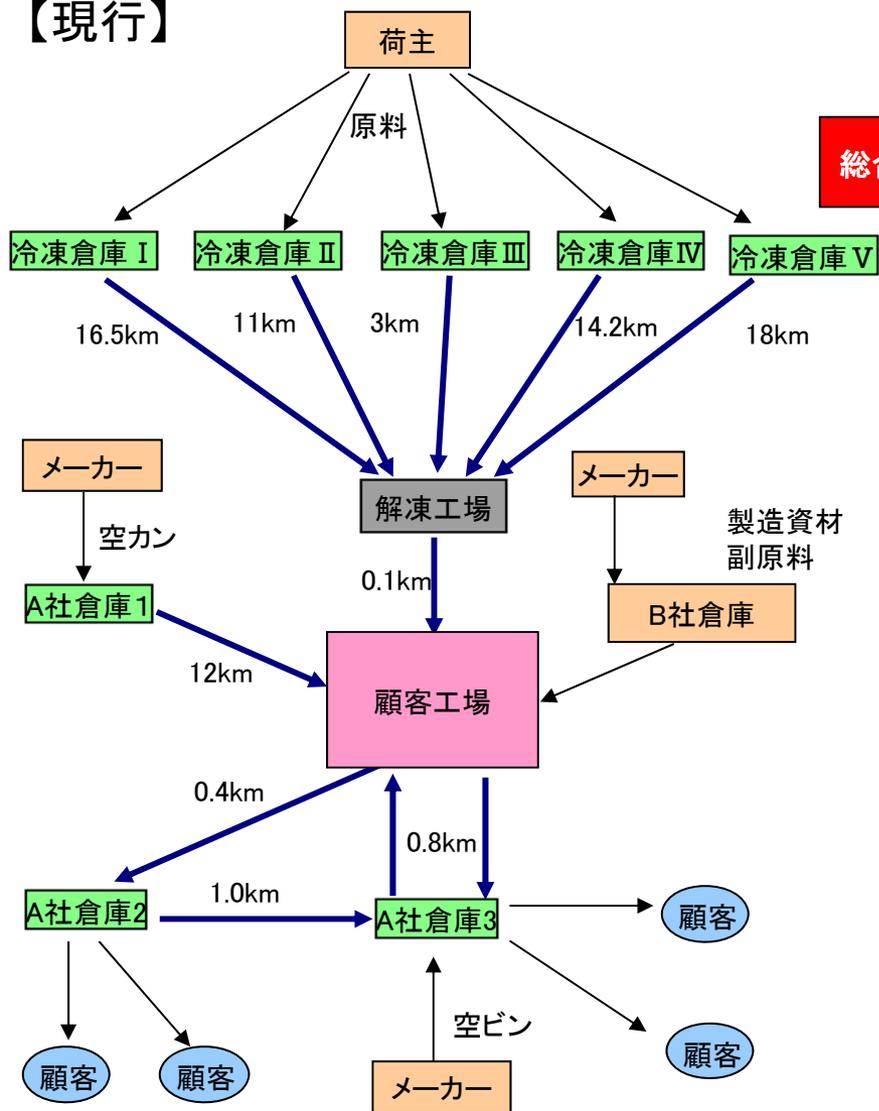
目次

○(株)八物、八戸通運(株)	1
○(株)新三善	2
○美野里運送倉庫(株)	3
○(株)ギオン、(株)日本アクセス、サミット(株)	4
○センコー(株)	5
○(株)ヒューテックノオリン	6
○(株)メイコン	8
○園田陸運(株)、(有)明和、(有)栄大ビル、(有)久和	10
○(株)ニチレイ・ロジスティクス九州 (株)ロジスティクス・ネットワーク 日本通運(株)	11

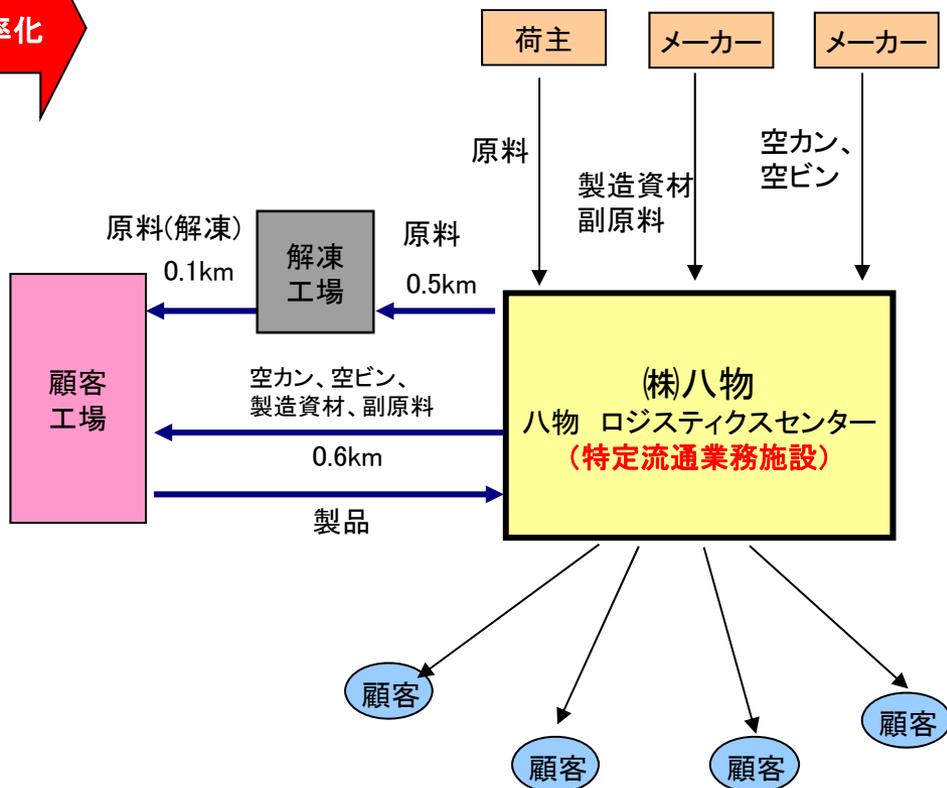
総合効率化計画の概要

((株)八物、八戸通運(株))

【現行】

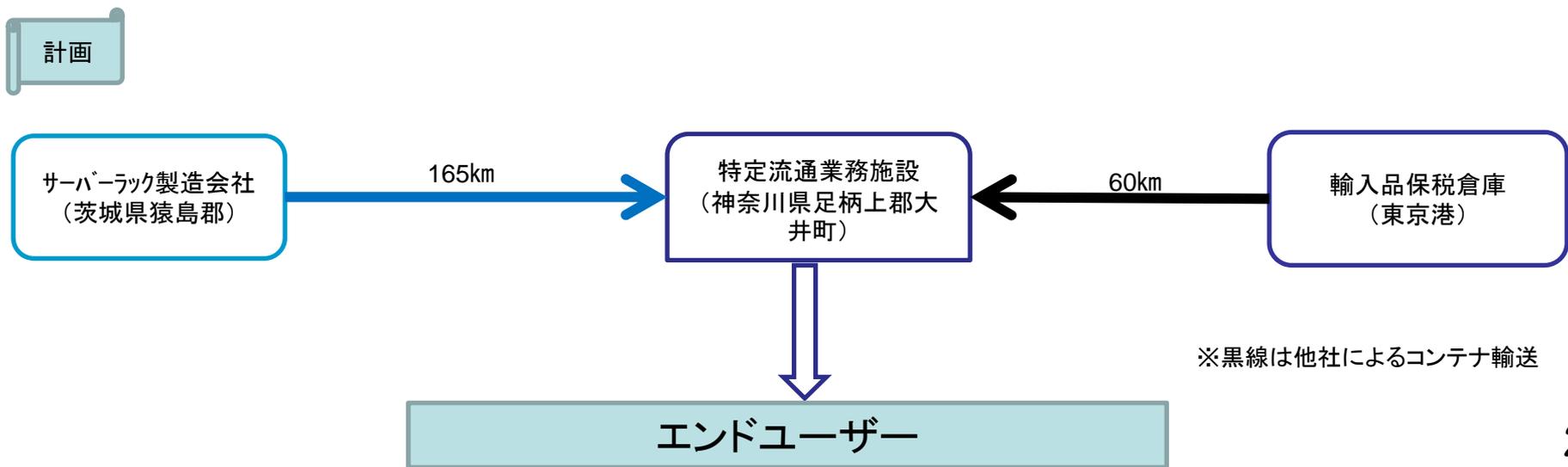
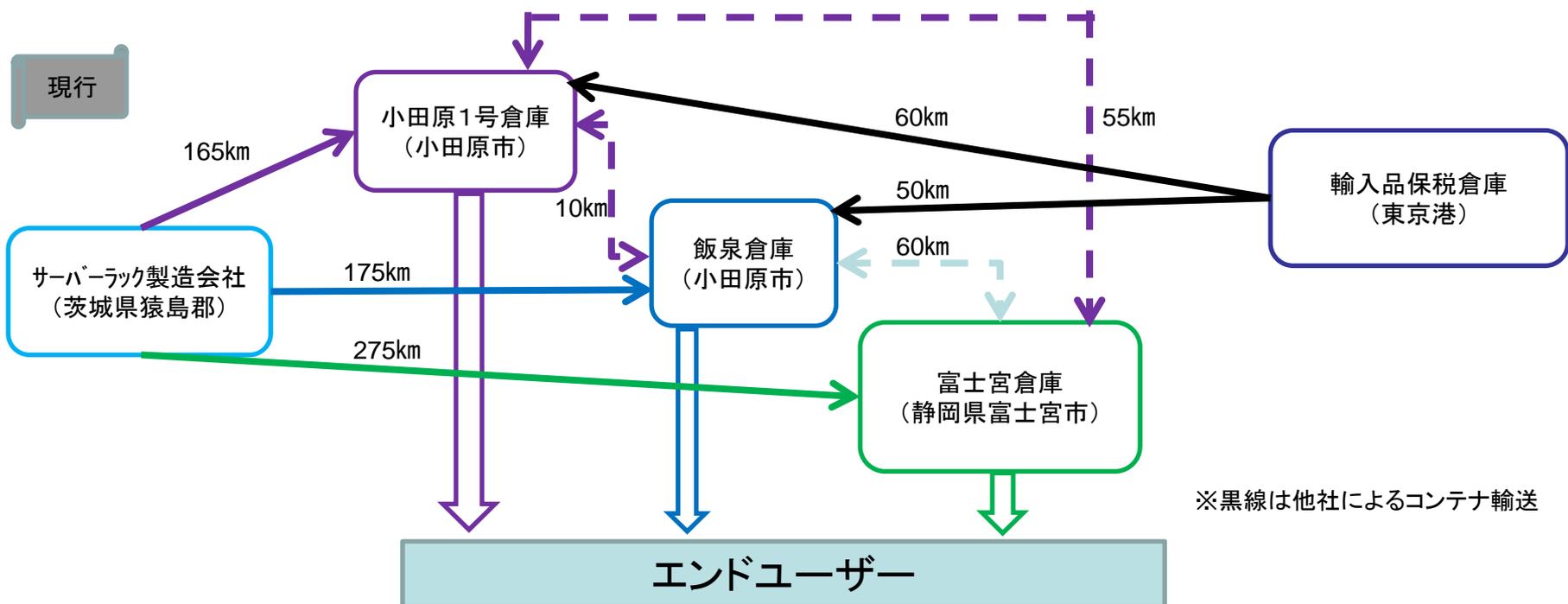


【計画】



総合効率化計画の概要

((株)新三善)



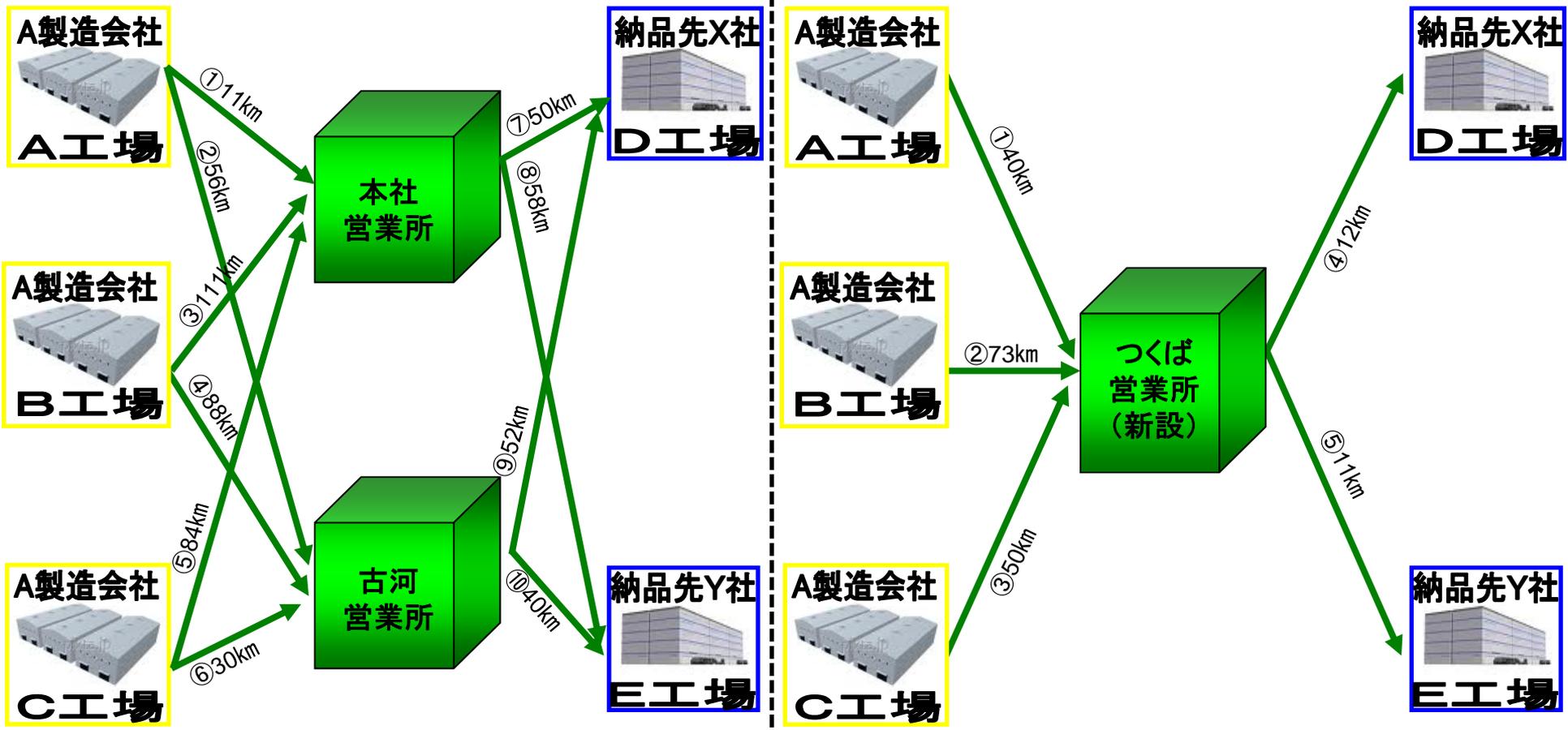
総合効率化計画の概要

(美野里運送倉庫(株))

現行の物流フロー

計画の物流フロー

総合効率化



総合効率化計画の概要

((株)ギオン、(株)日本アクセス、サミット(株))

《 現 行 》



各メーカー・工場



(株)日本アクセス 神奈川支店



(株)日本アクセス 埼玉支店



(株)ギオン
川崎センター



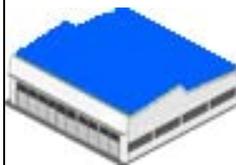
(株)キューソー物流システム
富士見センター

総合効率化

《 計 画 》



各メーカー・工場



(株)ギオン
川崎センター



(株)キューソー物流システム
富士見センター



(株)日本アクセス
草加新センター

《特定流通業務施設》



世田谷区方面 横浜方面 府中方面



杉並区方面 豊島区方面 足立区・江戸川区方面 埼玉方面



世田谷区方面 横浜方面



府中方面 杉並区方面 豊島区方面



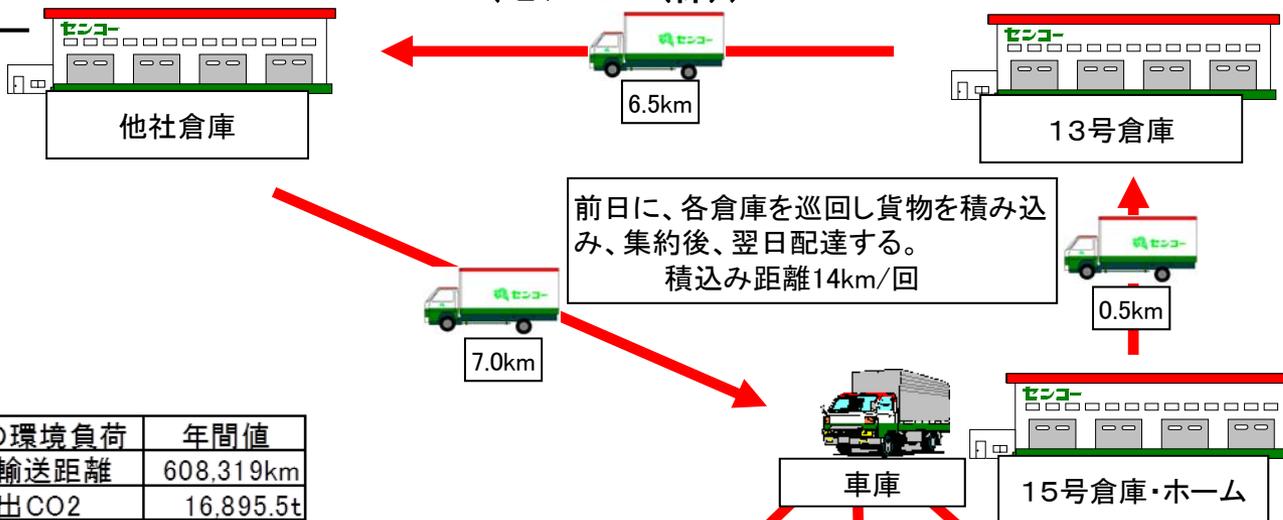
足立区・江戸川区方面 埼玉方面

< 特定小売店舗 >

総合効率化計画の概要

(センコー(株))

◎現行の物流フロー



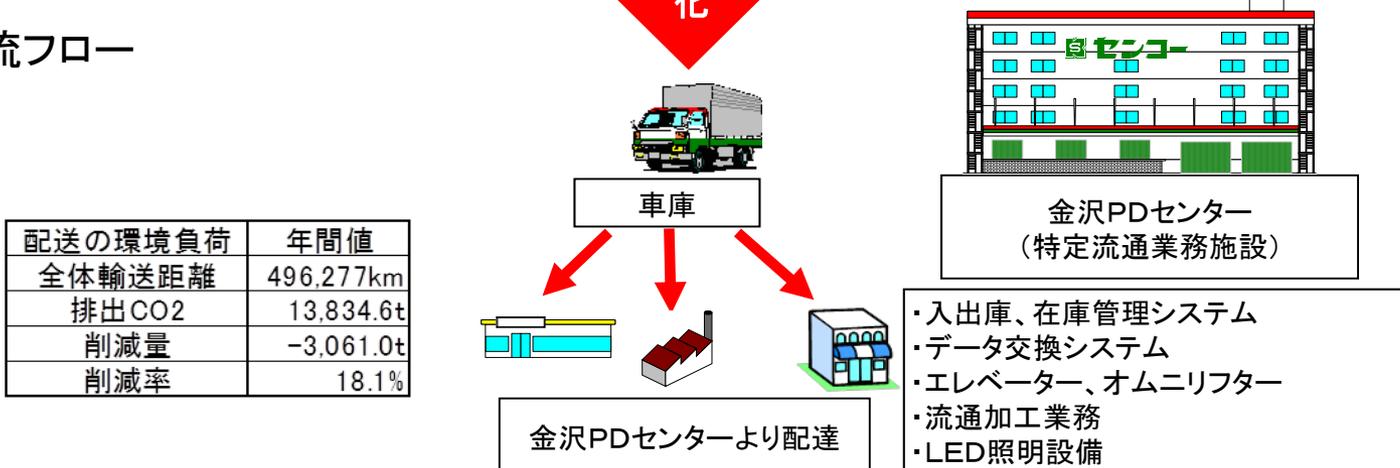
配送の環境負荷	年間値
全体輸送距離	608,319km
排出CO2	16,895.5t

◎新PDセンター設立による輸送網の集約

新しくPDセンターを設立し、各倉庫に分散していた貨物を一拠点に集約することで倉庫間の横持ち配送(14km/回)をなくす。

総合効率化

◎計画の物流フロー

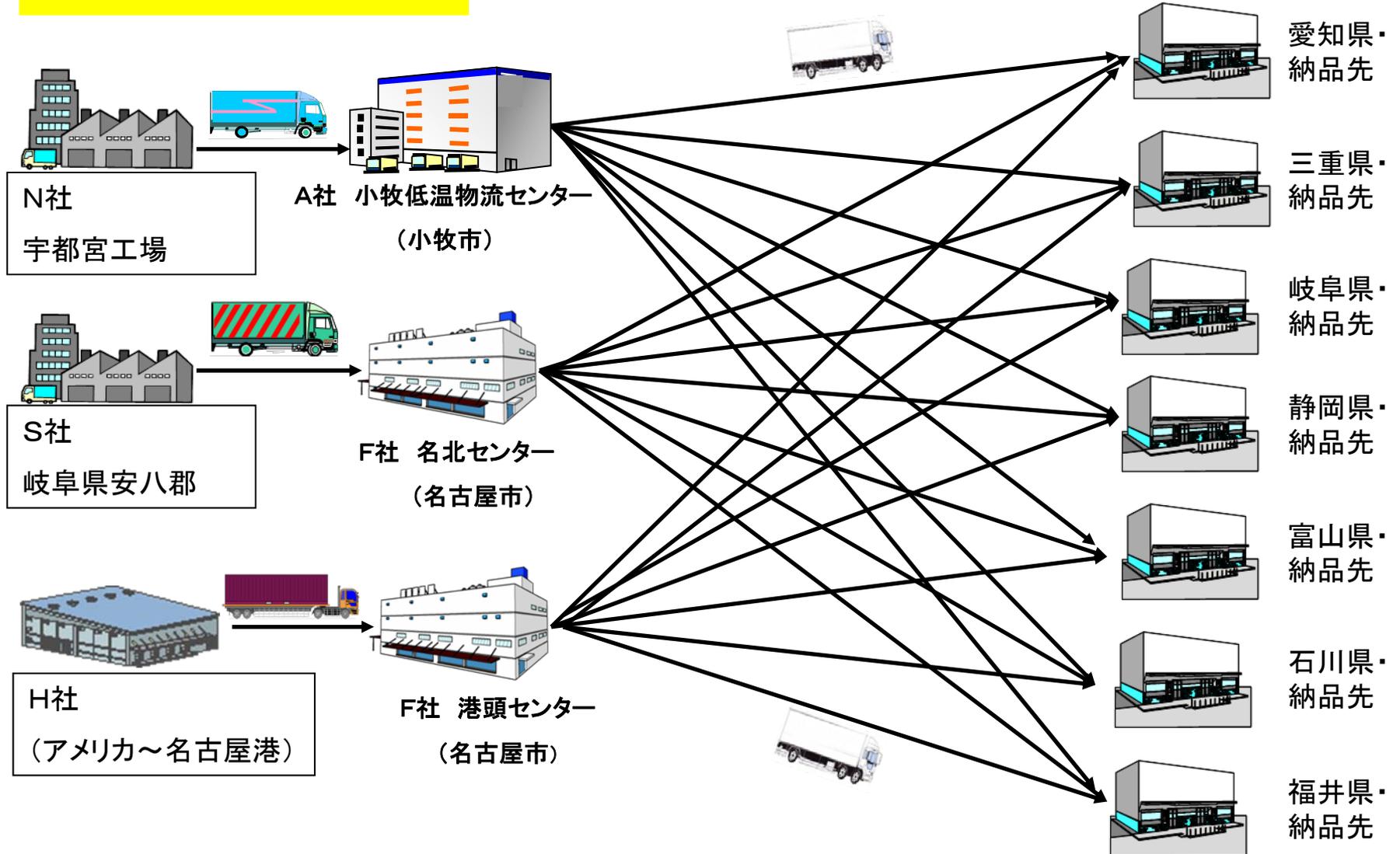


配送の環境負荷	年間値
全体輸送距離	496,277km
排出CO2	13,834.6t
削減量	-3,061.0t
削減率	18.1%

総合効率化計画の概要 (1)

((株)ヒューテクノオリン)

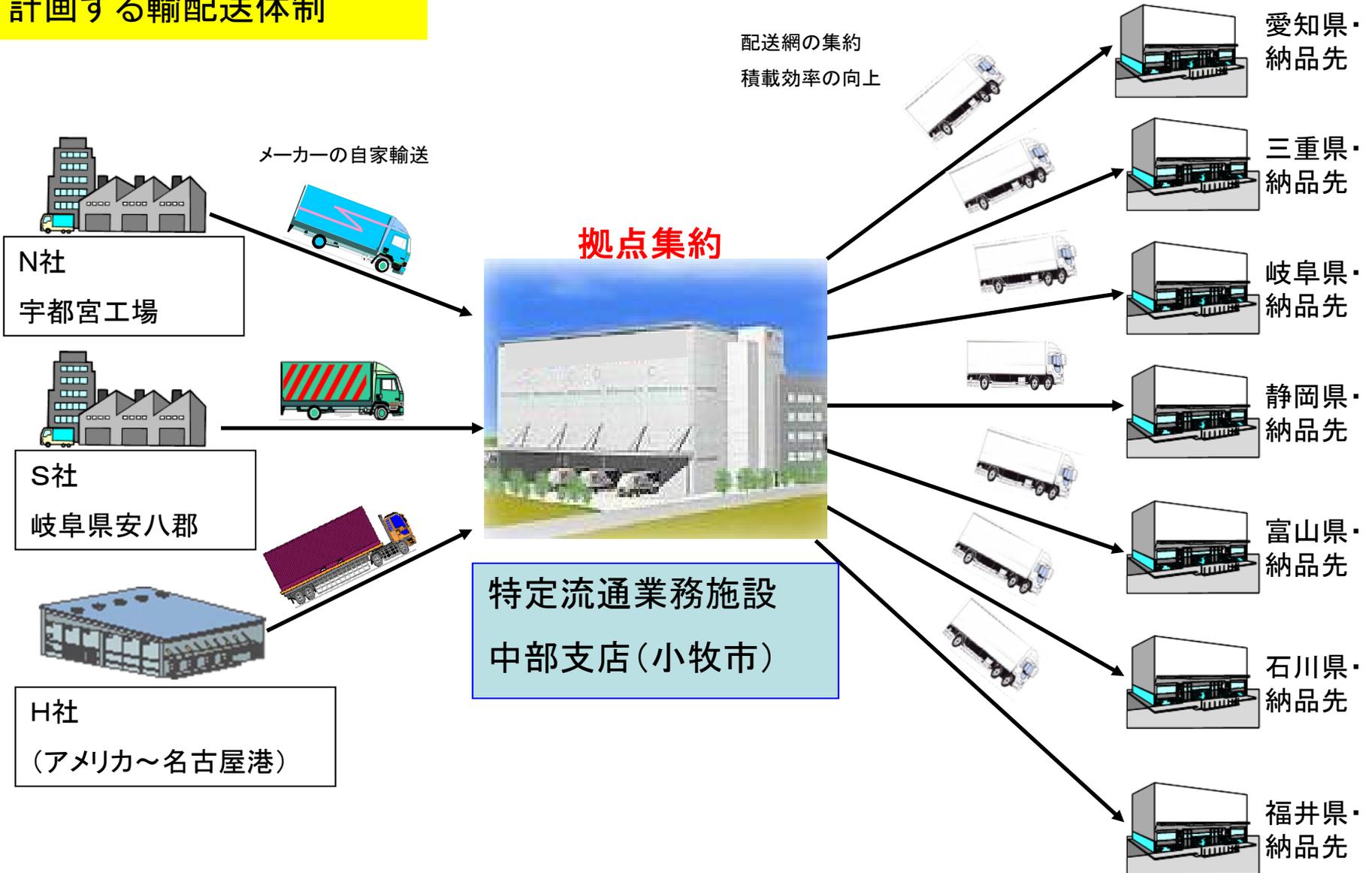
現行の輸配送体制



総合効率化計画の概要（2）

（（株）ヒューテックノオリン）

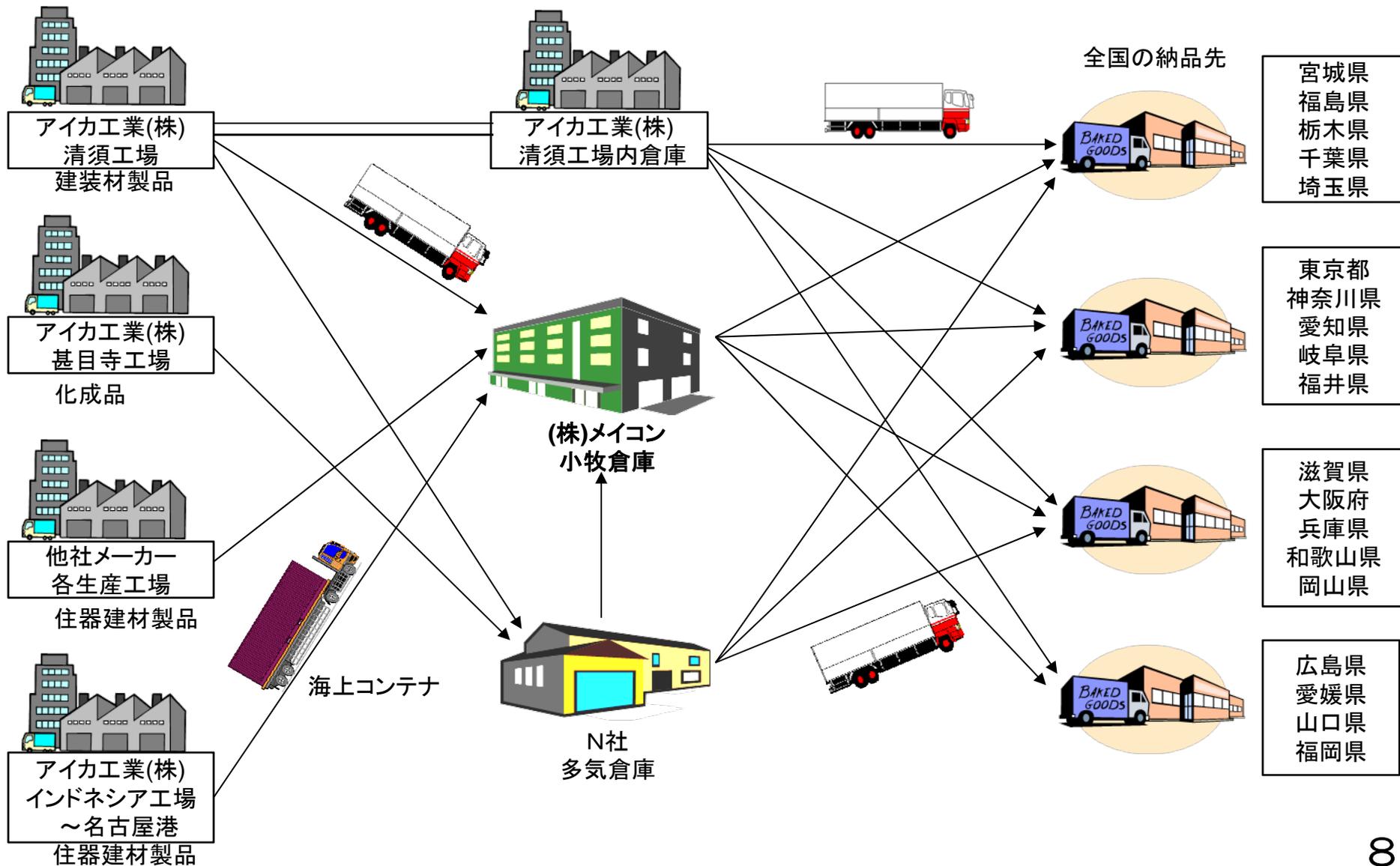
計画する輸配送体制



総合効率化計画の概要

((株)メイコン)

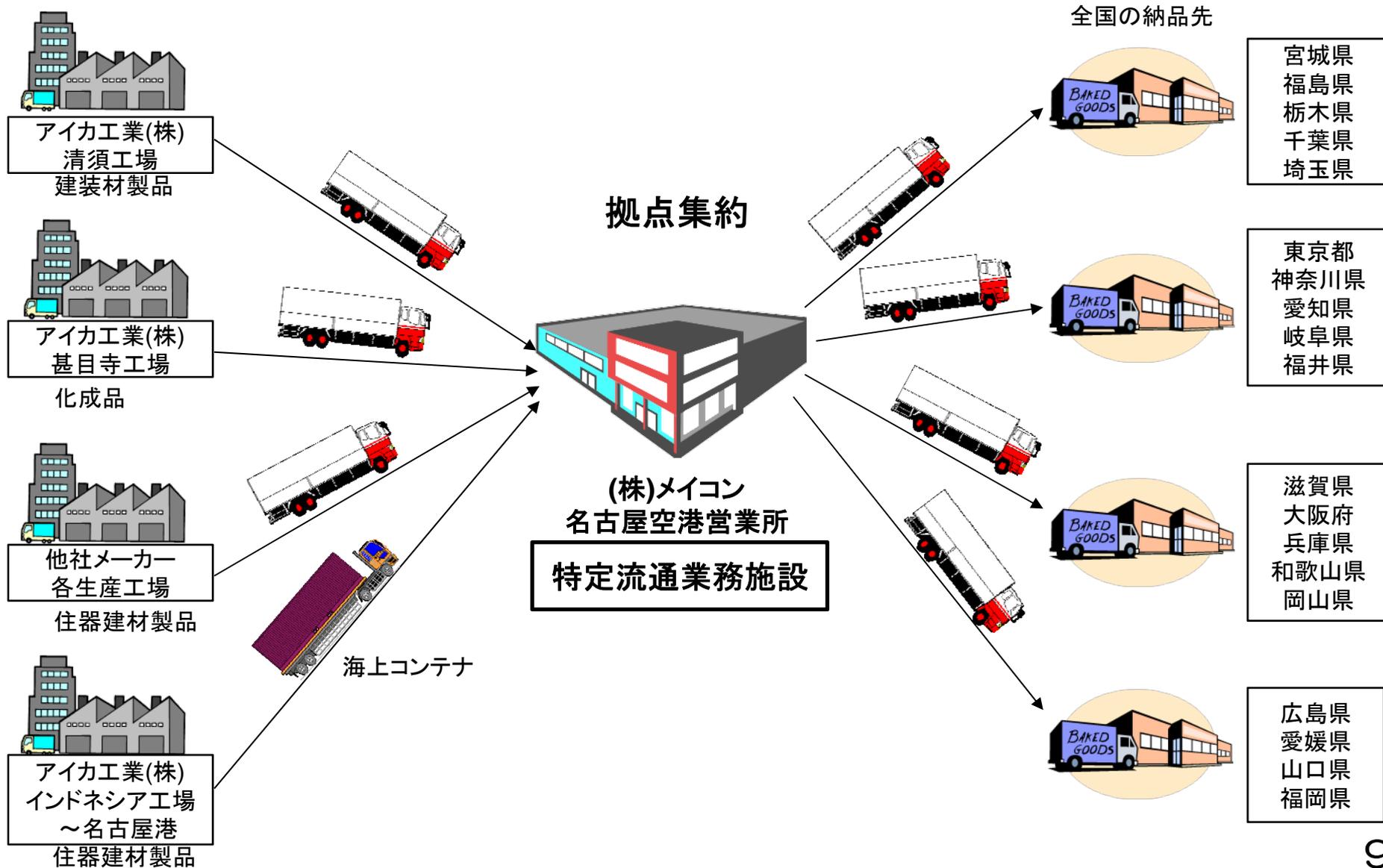
現行



総合効率化計画の概要

((株)メイコン)

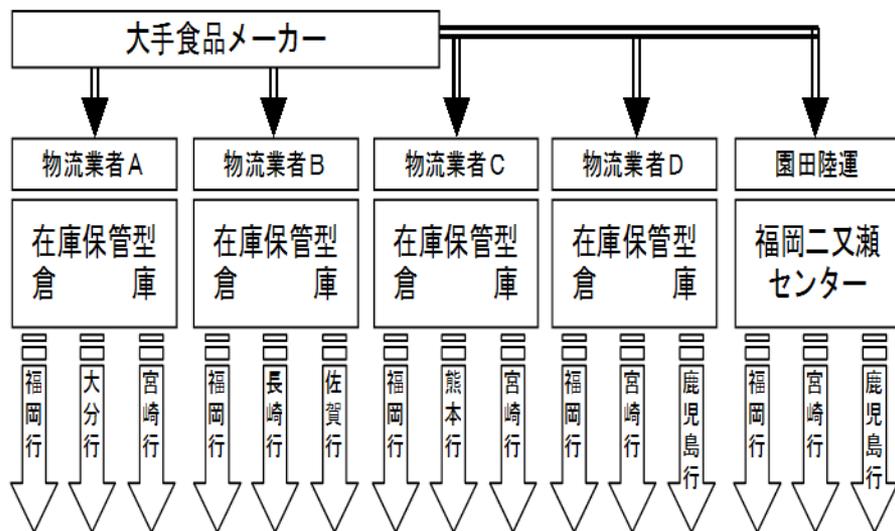
計画



総合効率化計画の概要

(園田陸運(株)、(有)明和、(有)栄大ビル、(有)久和)

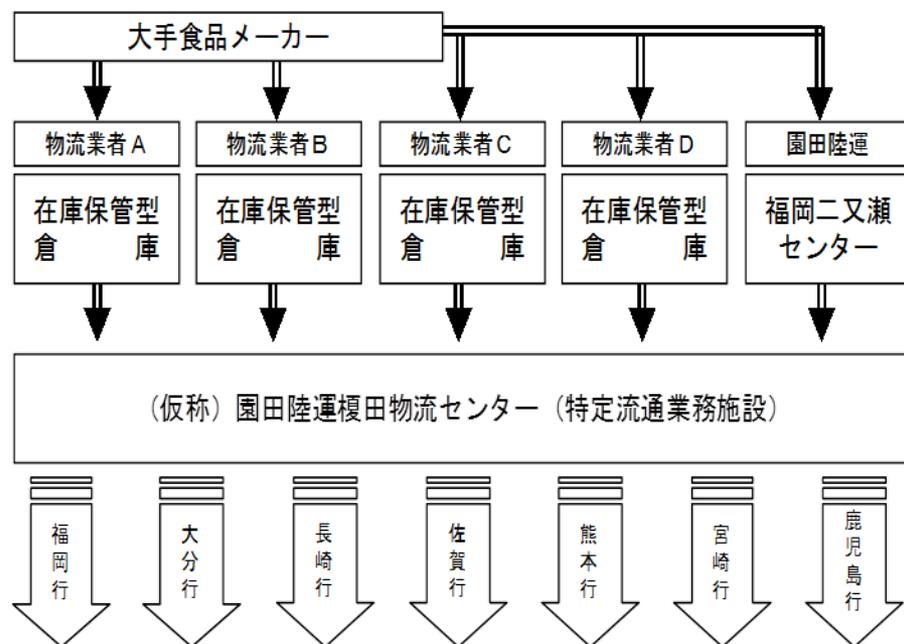
『現行の物流フロー』



現状、物流業者はそれぞれが独立したルートで商品毎、店舗毎に配送。(エリア重複)

総合効率化

『改新の物流フロー』



輸配送を一元化することにより、配送の効率化、各物流業者の間接経費を削減できる。協力業者への発注は積載量増、配送回数減で物流品質の向上を実現。

